

宮崎公立大学生の今を伝える

MMU SHiP

エムエムユー
シップ

特集 1

みやざき食の最前線

特集 2

みせ手帳だい！

～私と手帳の RELATIONSHIP～

CONTENTS

留学体験談 視界よしっ！

カナダ バンクーバーアイランド大学

KYO-SHiP

森部 陽一郎 准教授

Real Voice

私のターニングポイント

しっぽり語る

卒業目のホンネ

@MIYAZAKI

わくわく！ わかくさんぽ

CIRCLE DE GOSHIP

学生が市民講座を行うサークル

連続リレーエッセイ いいだしっぺ

森津 千尋 准教授 - 未来につながる「種」

MMU NEWS PLUS

未来の compass

宮崎市役所 野田りささん

今回の表紙 特集1の取材で乗り込んだ「やひろ丸」から (P.2へ)

宮崎市青島の漁師の仕事を突撃取材した山本 麻育子さんと古川 瑠衣さんの2年生コンビ。真冬の早朝の漁に同行させてもらえることになり、水平線の彼方から昇る太陽に思わず目を細める山本さんを、光画部カメラマンの古川さんがパチリ。朝日の向こう側に若者は輝かしい未来を見たことでしょう。MMU SHiP 第3弾、満を持して「船」の上からお送りします。

■文:小林 元気 (学務課学生係)

Miyazaki Municipal
University
Communication Magazine
"MMU SHiP"

vol.03

食の最前線

宮崎と言えば食材の宝庫。MMUの学生は、大学近辺のスーパーに立ち寄れば、新鮮な魚・肉・野菜を安価で購入することができる。しかし、スーパーの店頭と並ぶ前には、当然それらを生産している人々の汗と苦労が存在する。普段美味しく口にしている食材の生産現場を取材した。



魚を獲る、仕事。

平成25年1月17日、午前8時。真冬の朝の凜とした空気のなか、漁船やひる丸は青島漁港を出発した。右手には城山にそびえたつ仏舎利塔、左手には洋上に浮かぶ青島が見える。オレンジ色の朝日が反射してきらめく海面を、漁船が波をかき分けて走っていく。

宮崎公立大学（以下MMU）が位置する宮崎市の中心から南へ約16キロ、鰐塚山地が太平洋にせり出してくる宮崎平野の南端に、宮崎市青島地区は位置している。この一帯は、青島神社や鬼の洗濯板等で全国的に有名な観光地であり、イセエビやカツオ、マグロ、アジ、サバ、ハモ等が水揚げされる漁港の町でもある。

経験と腕つぶしの世界

矢部さんは現在62歳。高校の同級生が首都圏の大学に進学するなか、父親が青島の地で始めた漁業を継ぐことを決めた。それ以来40数年間、専業の漁師として海の上で戦ってきた。現在は、早朝に船を出して魚を獲り、それ以外の時間は漁協の組合長として業務をこなす毎日だ。剛健、という言葉がふさわしい海の男の風貌だが、孫の話をす

1この日一番たくさん獲れたサゴシ。船上で箱につめて新鮮なまま出荷する。2港では漁協のスタッフが連携して魚を仕分け処理をする。大物の二ベはいけすの中でしめられた。3生きたアオリイカのおすそ分け。漁協内の厨房でさばき方を教えて頂きごちそうになった。包丁を縦に入れるか横に入れるかで刺身の歯ごたえが変わることを初めて知った。写真は山本記者。



矢部 廣一さん

宮崎市漁業協同組合長、漁師。MMU就職支援室の黒木室長とは、宮崎南高校の同級生

ると顔がほころぶ。今回同行させてもらった漁は定置網漁と呼ばれるもので、海中に仕掛けた網にかかった魚を獲る「待ちの漁」だ。矢部さんの操舵にかかった漁船に、宮崎市内で居酒屋を営む児玉さん、矢部さんの長男が宮中社の社員である大村さんの3人で漁に出る。意外なことに、矢部さん以外の2人は漁師ではなく、それぞれ別の仕事をもっていて、時々漁の手伝いに来る間柄だという。

陸地からおよそ1キロ離れた沿岸部まで20分ほど。網を仕掛けてあるポイントで船を止め、電動のウインチで網を巻き上げていく。網にかかっているのは、綺麗な身のサゴシを中心に、カンパチやアジ、太刀魚やメジナ、アオリイカなど多種多様。3人は慣れた手つきで網から魚をはずし、ポンポンと甲板に放り投げる。体長1メートル近い大二ベが見えた時には3人から歓声が上がった。網を引き揚げてみるまでは、その日の成果はわからない。たくさん獲れる日もあれば、網の中にこみしか入っていない日もある。

おすそ分けの文化

矢部さんのお話を伺っていて興味深かったのは、漁師町に特徴的であるという「おすそ分けの文化」だ。

漁師の家族は、日常生活の中で親戚や知り合いに会う時、必ずその日や前日に獲れた魚を持ち寄って贈り合うという。その魚を売れば数千円にはなる。会うたびに数千円の現金をプレゼントすればおかしな具合になるが、魚ならそれが自然になる。昔からの風習だけど、コミュニティの結束を強める先人の知恵なのかな」と矢部さんは話す。

青島の若い漁師は、地区の消防団員を務める人が多い。漁師の仕事は早朝から始まるため、午後には手が空くこともあり、その時間に火事や水難事故があれば、地域の安全のために出勤する。つまり、労働時間を「おすそ分け」して、地域のために持ち寄っているとも言える。

隣人の素性も知らぬまま暮らすことも珍しくない都会では、生活の単位は個人だ。一方で、漁師町には「おすそ分け」精神で助け合い、個人を優しく包摂する「地域コミュニティ」という単位が存在する。

取材当日も、おじいちゃんが孫をかわいがるように、突然来訪した私たち学生記者を獲れたてのアオリイカと握り飯で温かくもてなしてくれた。

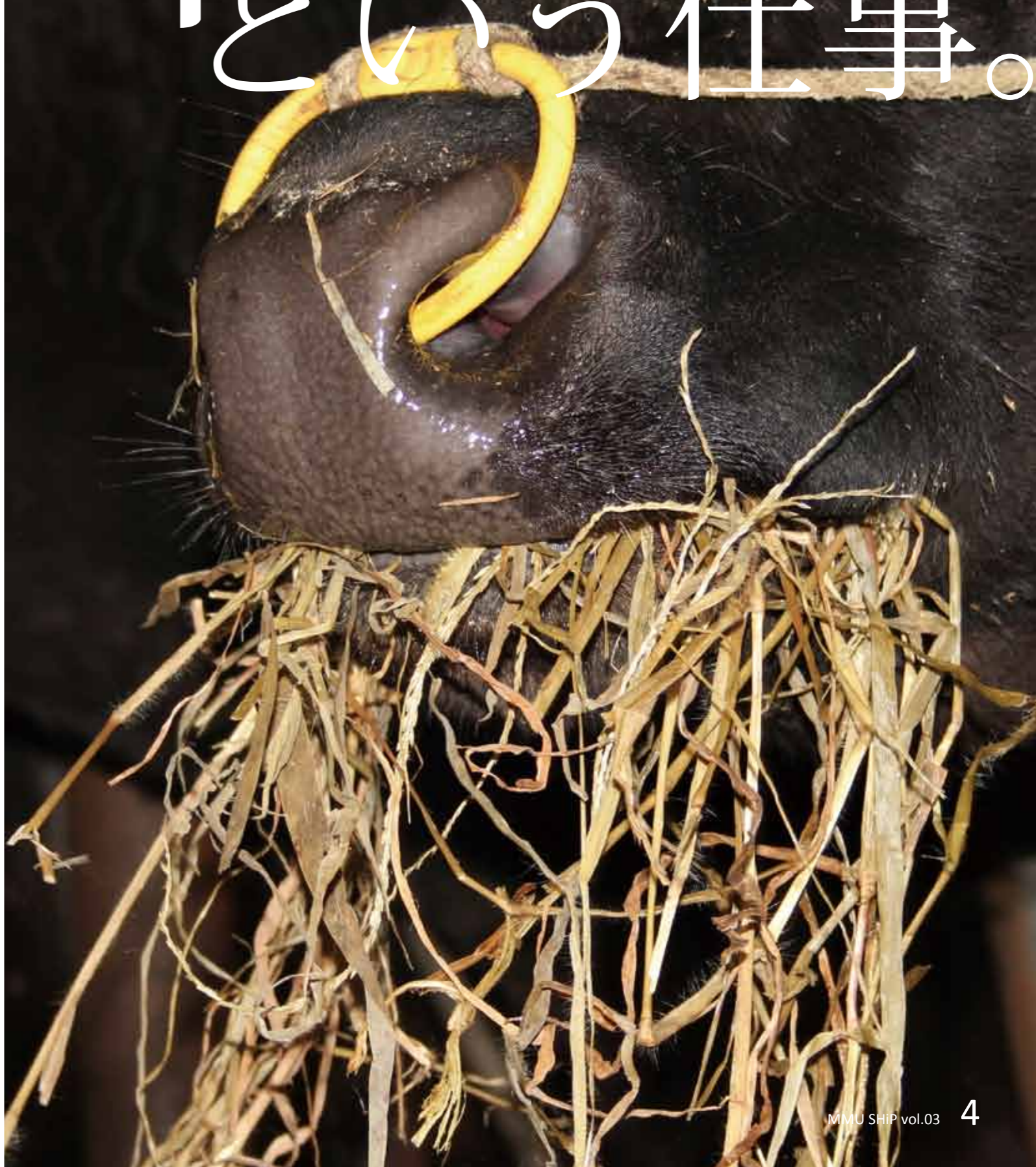
漁業の現在と未来

矢部さんに漁業の現状について尋ねてみると、食の欧米化と若い世代の「魚離れ」によって、魚の消費量の落ち込みが深刻だという。また、前述のように安定した収入を得られる絶対の保証がないため、漁師の数も減少傾向にある。

しかし、その現状を手をこまねいて見ているわけではない。宮崎市漁業協同組合では「青島どれ」魚介類のブランド化を図るため、青島漁港内に直売所やレストラン「港あおしま」をオープンするなど、打開策を模索し、常に新しいことに取り組んでいる。

MMUの県外出身の学生からも、「宮崎に来て初めて魚をおいしいと思った」という声をよく聞く。その新鮮な魚を食卓に提供してくれている、誇りと優しさをあわせ持つ漁師の存在を心に留めて、今日も「いただきます」と言いたい。

牛を育てる仕事。



日本のスーパーマーケットの精肉コーナーでは、「輸入牛」「国産牛」「和牛」の3種類の牛肉が販売されている。一番安価な輸入牛はよく知られているが、国産牛と和牛の違いについてはあまり知られていない。

国産牛とは、ホルスタイン種等の乳用種や乳用と肉用の交雑種も含め、日本国内で3カ月以上肥育された牛の総称である。現在はほとんど流通していないが、外国産の牛が日本で3カ月以上肥育されれば、国産牛と称することが可能である。

一方で、和牛とは、日本の在来種をもとに、交配を繰り返して改良された肉用種の牛である。日本では現在、「黒毛和種」「褐毛和種」「日本短角種」「無角和種」の4種類しか存在しない。

ここ数年間で、「宮崎牛」という名称が全国的に浸透してきている。平成24年10月に開催された第10回全国和牛能力共進会において、宮崎牛が見事に連覇を果たし、口蹄疫からの復興を全国に印象づけたことは記憶に新しい。

今回は、宮崎県産の最高レベルの黒毛和牛である「宮崎牛」にスポットを当て、その生産現場を取材した。

繁殖農家と肥育農家

2月上旬の早朝、宮崎市塩路の「長友牧場」を訪ねた。白い息を吐きながら車から降りると、牛の鳴き声が聞こえ、それと同時に牧場独特の匂い

が広がる。入口に撒いてあるのは、消毒用の白い粉末。口蹄疫の影が未だ去っていないことをひしひしと感じる。

長友牧場の主である長友明さんは、畜産農家を32年間続けるベテラン農家。

肉牛の農家には、母牛に仔牛を産ませて生後10カ月まで育てて出荷する「繁殖農家」と、その仔牛を買取り肉牛として適した年齢まで育てて牛肉を売る「肥育農家」が存在する。長友牧場は、繁殖農家を本業として、親牛110頭と仔牛80頭を育てながら、20頭の肉牛を育てる肥育農家でもある。意外なことかもしれないが、高級和牛として有名な松阪牛や神戸牛は、宮崎県外の肥育農家が宮崎県の繁殖農家から仔牛を購入し、それぞれの土地で育てた牛も含まれる。

長友さんの牧場の牛たちは、年齢ごとに区分けして飼育されており、朝夕の餌も、年齢ごとに少しずつ異なるものを与えられている。赤身のバランスを整えるためにビタミン剤は与えない。脂肪の色が白く輝くように、自然乾燥させた真新しいわらや、全国的にプレミアがついて有名な宮崎の某焼酎の酒の搾りかすを与える。その飼料には、長年の経験の蓄積による工夫が凝らされている。

口蹄疫〈前と後〉

口蹄疫とは、口蹄疫ウイルスによる家畜伝染病である。宮崎県では2010年に猛威をふるい、

その被害は宮崎県内各地に広がりを見せ、最終的な終息までに29万頭の牛と豚が殺処分され、被害総額は1000億円以上ののぼった。

初期段階の対策として、初めて感染が確認された農家の半径10キロ範囲内に位置する農家の牛は全頭殺処分を受けた。長友さんの牧場は、結果的には辛うじて範囲外だったが、殺処分の決定を知らされた時は目の前が真っ暗になり、涙が止まらなかったという。全国のマスコミからも取材を受け、長友さんが涙ながらに惨状を語る様子は、全国のテレビニュースで放映された。

殺処分は免れたものの、口蹄疫終息後も問題は山積みだった。仔牛や肉牛がすべて10カ月の間出荷禁止になったが、牛を飼っている限りは食事を与えなければならぬ。そのため、収入がない期間に飼料代の出費だけがかさんでいく状況が続いた。

また、口蹄疫発生から約半年間、人工授精師による雌牛への人工受精も禁止された。その結果、母牛の出産に空白期間が生まれた。現在でも、長友さんの牧場では1カ月間仔牛が1頭も生まれないう月がある。また、その翌月にまた生まれるという現象が起きている。

県内の畜産農家全体で、口蹄疫発生の前と後は牛が2000頭弱減少したという。このように口蹄疫という伝染病は、宮崎県の畜産農家の歴史に大きな爪痕を残した。

畜産の現状と未来

宮崎県内には10頭以下の牛を育てている繁殖農家が多く、平均年齢は70歳。高齢で仕事が体力的に厳しくなってきた牧場を閉めるケースも多いという。多額の初期投資が必要なため、若者の新規参入も簡単にはいかない。

しかし、長友さんは前を向いている。全国各地からの農業研修生を積極的に受け入れて、後進を精神的に育てている。宮崎牛のPRにも尽力し、読売巨人軍の澤村投手が長友さんの牛にミルクを与える写真は、宮崎市の広報誌の表紙を飾った。復興までの道のりは、それぞれの農家の地道な取り組みによって支えられていたのだ。

現在話題になっているTPP問題について尋ねてみた。「宮崎の繁殖農家が出荷する牛はブランド和牛なので、牛肉として外国と競合することはないのではないかと」とのこと。「ただ、繁殖農家は飼料や機材の燃料等様々な経費がかかるので、一概には言えない」とも。

取材の最後に、「厳しい現状もあるけれど、繁殖農家は生き残ることができる」と力強く宣言した長友さん。きびきびと力強く仕事をされるその姿からは、口蹄疫からの復興に対する強い思い、そしてこれからの宮崎の畜産にかけるひたむきさと情熱を、垣間見ることができたように思う。



長友 明さん

畜産農家。長友牧場を妻と二人で切り盛りしている。52歳



1



2



3

1 牧場の朝は200頭以上の牛への餌やりから始まる。1カ月の飼代は100万円を超える。2 仔牛へのミルクやりを手伝わせてもらった。それぞれの仔牛がミルクを飲む量にも目を光らせて、その日の体調を把握している。3 「副牧場長」の愛称で愛される猫。家族の一員。

■記事 古川瑠衣(2年)

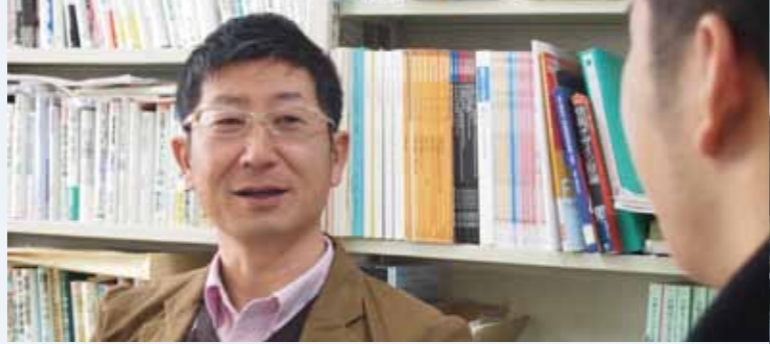
中国文化論ゼミ、山本麻育子(2年) 社会学ゼミ

Theme1 「今の専門に進むきっかけ」

僕は元フランス文学を学びたかったですよ。が、人生色々ありまして、経営学部に進むことに…。その大学で研究室を選ぶ時に、インダストリアル・エンジニアリング、つまり経営工学という分野を選択したことが今の専門に進んだきっかけでしょうね。これは経営学の中でも工学的色彩の強いもので、物を安定して作る方法とか不良率を下げる方法を学ぶ学問なんです。そこで色々学んでいくうちに、「経営工学って面白いな」って思い始めたんです。その頃は技術士等の資格をとってコンサルタントをやるかと考えていましたが、それなら大学院まで行ったほうがいいだろうと勧められ、修士課程に進むことを決心したんです。ちょうどその頃、インターネットが日本で商業利用され始めました。その存在を知る人がほとんどいないなか、たまたま通っていた大学には導入されることになって、私も興味本位で自分の研究資料とかを集めてたんですよ。そしたらまたもや「これは面白いな」と。そのあたりから、経営工学の中でも情報分野、特に品質管理の方に興味に移り、その知識を深めるために理系の要素がどんどん必要となってしまった訳です。元々文系だった僕は、数学IIIなんて習ってなかったもんだから、研究と並行して必死に勉強しましたよ。

Theme2 「情報デザインとは」

僕の専門科目の「情報デザイン」とは、品質管理をベースに考えている「情報デザイン」なんです。ただ、一般的に品質管理って言うと、不良品が無いとか、均一に作れるかってことを想像されるかと思うんですけど、僕はそれとはちょっと違う「利用品質」という分野を専門としています。利用品質とは、「物を作る時」ではなくて「物を使う時」の満足度、要するに製品が迷わず使えるかどうかという品質ですね。製品から発信される情報が何かしらおかしい場合、それが迷う原因となるわけです。だから情報を正しく分かりやすく形成する、それが受け手を迷わせないことにつながり、結果として利用品質が上がるといわけです。この考え方が広く様々なものに使えるというところが、この学問の楽しさであり、僕の好きなところなんです。



Theme3 「今の研究テーマ」

今は、宮崎のバス路線図の製作と、自転車レーンに関する研究をメインでやっています。どちらも利便性向上という観点からの研究です。宮崎の自転車レーンって危ないんですよ。誤った標識の情報や分かりにくい配置等によって、結果的にぶつかったり、転んだり等の事故が発生する原因となります。それらを正し、少しでも安全に走行できる自転車レーンを目指し研究を進めています。



学部・修士課程の先生である甲斐章人先生からの影響もあって、生活に役立つ事を研究するのが一番面白いし、好きですね。身の周りにテーマはいっぱいあるので、「面白い」と思ったら書き留めます。

Theme4 「情報を伝えるコツ」

分かりやすく情報を伝える為にはまず、客観的な視点を持つということです。人間は、何らかの情報を得た時、それにある程度のバイアス、つまり固定観念や一種の偏りのようなものをかけてしまうんですよ。それをできるだけ無くすことが情報を正しく伝えたり、把握するコツです。また、子供のようなバイアスがありかからない人が、迷わず正しく使えるものであれば、情報も正しく伝わっているんだろうと思います。

Theme5 「学生に求める姿勢」

勉強以外でも何でもいいので、指示待ち人間にだけはなってほしくないです。今の学生って一度も高度成長を体験せず、ずっとデフレの低成長のなかで生きてるので、どこか縮こまっている感が気になりますね。厳しい社会に出て行く上で、人に頼る事はもちろん大切なんですけど、最終的には自分で決められるような人間になってほしいなと思います。それが失敗だったとしてもちゃんと周りの人は見てくれていますよ。助けてくれたりもします。だから授業中に最低限のことしか言わないようにしているんですよ。細かく指示しちゃうとみんな指示を待つようになっちゃうでしょ？ あとは「自分で考えなさい」と。学生は僕の事をいい加減な奴だと思っているでしょうね(笑)。まあ、私が学生に期待するものが少しでも伝わってればいいなと思います。

Theme Extra 「忍者になりたかった」

小学生の頃、忍者になりたかったんです。忍者になる本を買ってもらって本気で修行してましたね。例えば近所の犬を敵に見立てて夜攻撃に行ったり、塀の上をダッシュでいかに速く走れるかトレーニングしていました。もちろん本気だったから生傷が絶えませんでしたよ(真剣)。

Vol.02 森部 陽一郎 准教授
情報デザインゼミ

1968年生まれ 九州産業大学経営学部卒業、近畿大学大学院産業技術研究科経営工学専攻博士後期課程修了 博士(工学) / 1998年広島県 広島女子商短期大学助手、1999年広島安芸女子大学専任講師を経て、2004年宮崎公立大学専任講師、2007年より現職

■記事 早川 康輝 (1年)

留 | 学 | 体 | 験 | 談
 世界へ漕ぎだせ!

視界
 よしっ!



vol.03
カナダ/バンクーバーアイランド大学
Canada/Vancouver Island University



カナダのバンクーバーアイランド大学(以下、V I U)に公費留学をした貴重な体験談を語って頂きました

記者 留学に至った経緯を教えてください
黒木 行きたいなと思い始めたのは、大学1年生の頃ですね。高校のときは「受験のための英語」しか勉強してなかったのですが、大学ではCALL¹⁾等、「話すための英語」を勉強する機会が多くなり、それらがとても楽しかったです。次第に、もっと実際に英語を使いたい、いろんな人とコミュニケーションを取りたいと思うようになり、留学を決めました。

記者 留学のためにどんな準備をしましたか

黒木 まず1年の頃はTOEFL²⁾や英検の問題を利用して、語彙力やリスニング力を高めました。2年からはゼミの活動が始まり、書く、読む、聞く、話すといった「四技能」を中心に高め、3年の夏休みごろから志望動機書、学習計画書を書く準備をして春休みから実際に書き始めました。そして4年の5月ごろ、公費留学の試験を受けて合格を頂きました。留学するには、長い準備が必要なので、具体的な夢や目標を持つことが大切だと思います。

記者 留学前にどんなサポートを受けましたか

黒木 ニコル先生や戸高先生等英語関連の先生や、実際にカナダやニュージーランドへ留学に行った先輩方から、参考になるたくさんアドバイスを頂きました。先生や先輩との距離が近いMMUだからこそ、このような多くのサポートを得ることができたのではないかと感じています。

記者 実際にV I Uで講義を受けて感じたことは

黒木 日本の講義は先生が一方向的に進めている感じがしますが、V I Uでは学生が主体となって講義が進められていました。学生による質問やディスカッションが7、先生の指導が3ぐらいの割合で講義が構成されていたと思います。

記者 コミュニケーションを取る際に気を付けたことは

黒木 日本人はあまり主張をしませんよね。自分の言いたいことを雰囲気察してもらおうとしますが、そういう部分はカナダでは全く通用しなかったんで、自分のしたいこととか、してほし

* 1 CALL…Computer Assisted Language Learning の略
 * 2 TOEFL…Test of English as a Foreign Language の略。非英語圏の出身者のみを対象とした、外国語としての英語テスト

■記事 早川 康輝 (1年)

いことはしっかり言うように心がけましたね。

記者 滞在中の楽しかった出来事を教えてください

黒木 友人4人とバンクーバーの中心部に遊びに行ったことですね。特に水族館が印象的でした。館内にジャングルがあるんですよ。魚じゃなくて爬虫類や鳥がいたり…。日本ではあまり見ない施設がたくさんあって、これがカナダでのエンターテインメントなんだと、文化の違いを感じました。あと、毎週金曜日にTGIF(Thank God, It's Friday)っていうのがありましたね。その日は、無事に金曜日を迎えられたことと、きたる週末を祝う日らしく、寮の一部屋を借りて、大きなピザやビールをたくさん買ってきて、学校の人たちをたくさん誘って飲み明かすんです。その時ばかりは、学業を忘れて多くの人と交流することを楽しめました。



学生寮で一緒に過ごした友人

記者 留学を経て成長したと感じることはありますか

黒木 様々な国から留学生が学びに来ていたため、幅広く人の考えを受け入れ、その上で自分の考えを主張できるよう努力しました。その結果、今ではとても視野が広がったように感じますね。それは日本に帰ってからの生活で実感できています。

記者 留学を考えている後輩に一言お願いします

黒木 留学をしたいのであれば、明確な夢や目標を立てて、きちんと準備することが大切だと思います。あと、現地では「絶対に日本語を使わないぞ!」くらいの意気込みを持つことと、外国に「行く」のではなくて外国で「学ぶ」ということをしっかり頭に入れ、積極的に人や課題に関わることが、実りある留学につながるのではないかと思います。



バンクーバーの夜景



特集2 みせ手帳だい！

～私と手帳の RELATIONSHIP～

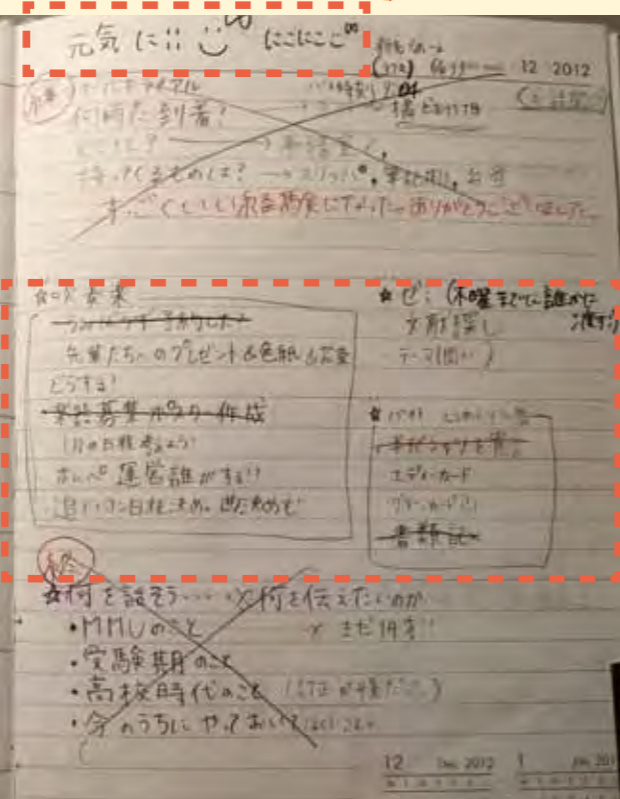
MMU では手帳を活用している学生を多くみかけます。今回は5人の学生に個性あふれる手帳を見せて頂きました

CHECK!!

ウィークリーページにびっしりと書き込まれた「やることリスト」。そして自分を励ます言葉が印象的なOさんの手帳。日々の頑張りが目に見えますね。

ゼミや勉強で忙しい時は、やるべきことや予定を書き込んで終わったら消していきます。頭や心の整理もできますし、リストを一つひとつ消すのが楽しくて。自分を励ます言葉もそんな忙しい時期によく書きますね。見ると「今日も頑張ろう」って思います。手帳は「自分が元気になれるもの」。

Oさん 国際関係論ゼミ



「やることリスト」

CHECK!!

すっきりと予定がまとめられたSさんの手帳。手帳は自己管理をするためのマストアイテムだそう。

予定を詰めすぎたらその週末はちょっと休む等、手帳を通じて時間の使い方ややるべきことの優先順位のつけ方が上手になりました。余白には、友人からの言葉や本で読んだことで心に残った言葉を書き留めたりしますね。後ろにあるメモ用のページには気になった新聞記事の見出しを書いています。就活にも役立ちましたし、話のネタにもなりますよ。

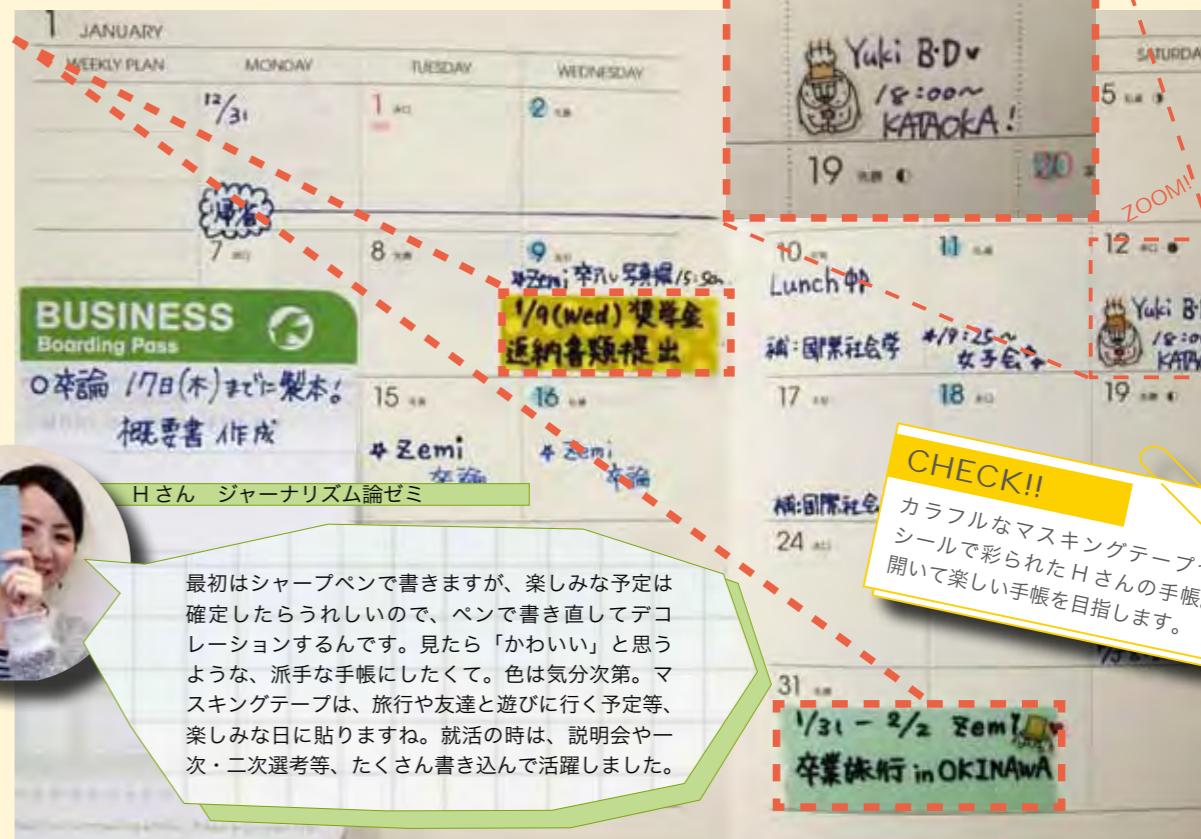
Sさん 国際法ゼミ

余白も有効活用！

■記事 湯地 可奈（2年 American Studies ゼミ）、渡邊 美紗（2年 情報行動論ゼミ）

特集2

マスキングテープやシールで楽しく！



Hさん ジャーナリズム論ゼミ

最初はシャープペンで書きますが、楽しみな予定は確定したらうれしいので、ペンで書き直してデコレーションするんです。見たら「かわいい」と思うような、派手な手帳にしたい。色は気分次第。マスキングテープは、旅行や友達と遊びに行く予定等、楽しみな日に貼りますね。就活の時は、説明会や一次・二次選考等、たくさん書き込んで活躍しました。

CHECK!!

カラフルなマスキングテープやシールで彩られたHさんの手帳。開いて楽しい手帳を目指します。

CHECK!!

毎月、余白にユニークな一言を書いているNさん。「精神面」...? これは何なのでしょう？

月末に翌月のテーマを考えます。この月の「精神面」は勉強もバイトも両方をふまえて書きましたね。手帳を開くたびに目に入るので、意識して過ごせましたし、後から見返した時に、その月がどんな1か月だったかがわかります。前の晩に机に置いておいて、朝それを見てカバンに入れるのが日課です。

Nさん 情報行動論ゼミ

CHECK!!

Bさんは、毎月ページの余白に楽しいコメント。この月はどんな月だったのでしょうか？

マヤの予言は個人的にとっても楽しみだったんです... (笑)。月の終わりに翌月の楽しみなことを書きます。この年の12月は初めて選挙に行った月だったので、それも書いていますね。スケジュール管理をしながら、頭の中を整理するためにも、すき間時間に書いて毎日見ます。

Bさん 歴史学ゼミ

REAL VOICE

入学してから「MMUっていいなあ」って思ったターニングポイントについて、在学生のホンネを聞いてみました。



入学

ターニングポイント
1年次/英語の授業

森田 陽子さん
1年

1年次に英語の授業がとても多くて驚きました。リスニングが苦手でしたが、シャドーイング（洋画等の映像を観ながら聞き取りと発声を同時に行う学習方法）で楽しみながら練習したり、洋書を毎週読むことで英文の読解の速度も上がり、またエッセイを何度も書くことで、英作文のコツも覚えることができました。がむしゃらに英語を頑張った時期を乗り越えて、勉強を楽しみながら苦手意識を克服することが出来ました。

ターニングポイント
2年次/海外活動

江藤 千鶴さん
3年 英米文学ゼミ

フィリピンでのワークキャンプに参加しました。元々欧米に興味があり、それまではフィリピンの実情をよく知りませんでしたが、この活動の中で宗教や貧困の問題に直面し、また、家族の大切さや人と人のつながりを実感する日々の中で、自らの視野の広がりや価値観の変化を感じました。この春、再びフィリピンへ旅立ちます。そう決意したのも、これまでの経験があったからです。今は何よりもフィリピンの良さを広めていきたいです。

ターニングポイント
3年次/学友会

進藤 真佐美さん
3年 英米文学ゼミ

学生の、学生による、学生のための自治組織である学友会は、学生と大学の間で立って行事の企画運営をします。体育部の部長として、主にスポーツの企画運営やサークル活動をより充実したものにするために奔走したなかで、チームワークで一つのことを成し遂げていくことの難しさと大切さを学びました。小さい大学だからこそ、各人が熱い思いを持って輝き、人と人が深く関わることが出来るのだと、学友会活動を通して実感しました。

ターニングポイント
4年次/検定試験

鈴木 健太郎さん
4年 英語教育学ゼミ

英語の教員を目指して、英語のスキルアップにこだわり続けた大学生活でした。特にTOEIC*で少しでも高いスコアをとるために努力を重ねましたが、後援会からの助成金のおかげもあって、在学中に10回受験出来ました。こうして、何か1つ頑張れるものを定めて突き進んでいくことで、英語力の向上を目指すモチベーションを保つことが出来ました。
* TOEIC...Test of English for International Communicationの略称。世界共通の英語能力テスト

ターニングポイント
4年次/就職活動

隈元 ゆりえさん
4年 情報社会論ゼミ

就職活動は、自分を見つめ直すことが出来る貴重な機会になりました。充実した活動ができたのは、就職支援室の方々のサポートのおかげです。面接対策やエントリーシートへの添削だけでなく、一人ひとりが抱える根本的な悩みにも、親身になって相談に乗ってくれる環境が、とても心強かったです。小さい大学ならではの目配り・気配り・心配りに支えられ、自分を信じたことで、自分の道を見つけることが出来ました。

ターニングポイント
1年次/部活動

平部 千尋さん
4年 社会心理学ゼミ

学生ボランティア部に入部し、家庭裁判所にくる子どもに寄り添い、話を聞くことを主体とした活動をしました。特に印象的だったのは、合宿で行ったロールプレイングです。少年役をした時、どのように話しかけられたら嬉しいか、真剣に考えました。そして、初めて担当したケースの発表等を経て、社会心理学ゼミに所属しました。英語が好きでこの大学に入学しましたが、これらの活動を通して、新たな可能性を見つけられました。

ターニングポイント
2年次/大学祭

榎木 真理さん
2年 国際関係論ゼミ

大学祭実行委員長をする前は、何事も一人であろうとする性格でした。しかし、この「祭」を通して皆と協力し、楽しむことを意識するようになりました。運営する上では「みんなと同じ目線で」というモットーのもと、頑張りました。すると以前よりも、物事がうまく進むことを実感しました。実行委員が270人もいるのは、稀な例です。皆の顔が見える環境だから皆が積極的になれて、冷めない熱気に包まれたのだと確信しています。

ターニングポイント
4年次/未来へ

アンケート結果
調査期間：2012年12月19日～28日
有効回答：179件

Q1. MMUが第一志望でしたか
A. はい...66人、いいえ...113人

Q2. 「MMUっていいなあ」ターニングポイントを教えてください（複数回答）
A. 人間関係...84人、部活・サークル...31人、ゼミ...25人、講義...18人、大学祭...16人、留学関係...10人、資格取得...4人、その他...17人

Q3. そのターニングポイントとなった時期を教えてください
A. 1年...107人、2年...49人、3年...10人、4年...13人

SHIPPORI

卒業目前のホンネ

志垣 (以下、志) インタビューの志垣です。まずは皆さん、卒論お疲れ様でした。皆さんどのような研究をしたのですか。

鍋谷 (以下、鍋) 異文化間コミュニケーションについてMMUの学生にアンケートをとって先行研究と比較したよ。毎日学校にこもって全文英語で書いたんだけど、すごくダメ出しもされた(笑)。
中城 (以下、中) 私は高校野球について新聞の言説分析を。過去何年分も高校野球の記事を抜き出して、仮説を立てて分析して実証したんだ。
田中 (以下、田) ネットワークを活用した福祉関連のシステムを発表したよ。それまでゼミの皆で作りに来たものの発表だったから、前日まで入念に準備してさ。バタバタだったよ。

志 色んな研究がありますね。また、去年は就職活動をされたと思いますが、中城さんは就職活動で内定まで5回面接まであったとか。
中 6回ね(笑)。
田 すげーっ！
鍋 就活って体力大事だよな。健康第一というのか。俺は2月に風邪ひいちゃって静かな説明会で咳払い出来なくて、すごく腹筋が鍛えられた(笑)。

中 移動が大変だよな。滞在時間よりも移動時間の方が長かったもん。
鍋 夜行バスで大阪に行って面接、翌日から名古屋で2社面接。午後にはまた大阪で面接して、夜行バスで福岡に行って面接。そして高速バスで帰宮。これが一番きつかった。
田 すこい話...。移動の間、お風呂は...？
鍋 入ってないよ。ポテシシート頼り(笑)。

志 鍋谷君は就活で武勇伝があるのか？
鍋 履歴書の特技の欄に「なぞかけ」って書いたことかな。
田 えーっ！

鍋 九州の旅行会社の面接で触れられたから「旅行とかけてまして、九州・沖縄と説きます」って。
田 一 同 その心は？
志 「楽しい発見(〇県)があるでしょう」。面接官から一瞥置いてから拍手してもらったよ(笑)。
中 (爆笑)。
志 すこい武勇伝ですね(笑)。田中君はゼミの活動でも忙しい生活を送っていましたね？
田 大変だったね。2週間に1度えびの市にボランティアに行っていたから。
中 何のボランティア？
田 高齢者の方にパソコンを教えたんだ。毎回俺の車に大量のパソコンと3人の命を乗せて片道2時間運転した(笑)。

志 なるほど。さて、それでは学内外での活動を含めて4年間を振り返っていかがですか？
鍋 全てにおいてすごく考えるようになったと思う。将来を見据えて勉強したり、授業を履修したり、収支を考えて生活したり。実家にいたら考えなかつたよね。ベタなこと言うと、「親のありがたみ」が身に染みてわかったかな。
田 とにかくお金がなくて...。動きすぎて最初のアルバイトでは、店長代行みたいになってた(笑)。

中 私はドラマの女子大生に憧れて、大学行くって思ったの(笑)。MMUの4年間は思っていた以上に自由で自分の選択次第でたくさん経験ができるなって思った。だから自分でメリハリを考えてたよ。就活の時バイトせずに就活に集中したり。でも自由な分、責任も自分にかかっていることも大学生活で学んだかな。
志 皆さん、学問に就活にアルバイトに充実した日々を送られたんですね。MMUでの4年間を糧に社会人になっても頑張ってください！卒業おめでとございます！

ゼミ、就活、アルバイト、充実した4年間をしっかりと振り返る...



田中 新一さん
4年
ネットワークゼミ

鍋谷 直仁さん
4年
Language and Societyゼミ

中城 亜友美さん
4年
広告コミュニケーションゼミ

■記者 富永彬佳(2年 行政論ゼミ)

わくわく! わかくさんぽ

広告コミュニケーションゼミ
presents



MMUの広告コミュニケーションゼミが、宮崎をプロモートするべくオリジナルマップを作成。宮崎市内の商店街に焦点を当て、取材を繰り返し、そのなかで自分たちが見て、聞いて、感じたことを存分に詰め込んだ「わくわく！ わかくさんぽ」をご覧ください！

「わくわく！ わかくさんぽ」 完成までの道のり

2012年
4月 プロモート活動開始。
宮崎市内の商業施設にテーマを設定

宮崎市内で開催されるイベントや、
商店街について調査



10月 若草通りに焦点を当て、
商店街内の取材を開始



取材をもとに、地図製作を開始

2013年
1月 若草通りの
オリジナルマップが完成



広告コミュニケーションゼミによる
「わくわく！ わかくさんぽ」がコチラ！

宮崎市の商店街周辺には、皆さんがまだ知らない隠れた名店が沢山あります。そのことを皆さんに知ってもらい、街がにぎやかになるきっかけを作りたい。若草という言葉を取りこ、このマップを作成しました。また若草ポイントとは、「若草」という言葉から連想されるイメージのことです。



自分にぴったりの贅沢コーヒーを

南蛮屋 宮崎店

11:00-19:00 火曜日

幅広い知識を持った店主とお話しすることでコーヒーに興味を持つこと間違いなし！お店のオリジナルコーヒーやコーヒーに合うお菓子など商品が豊富であり、自分に合った商品を見つけるのが楽しくなるお店である。一つ一つの素材にこだわっているため何れも足を運ぶことになるはず！

若草ポイント
お客様に興味の種を

季節を楽しむ旬のスイーツをめしあがれ♪

スイーツ工房 Every

(月~木)11:00-19:00

(土日祝前日)11:00-22:00 不定休

春には苺をトッピングしたクレープ、秋には栗を使ったモンブランクレープなど季節の旬のものを使ったスイーツを楽しむことができる。メニューも豊富でトッピングも多数あり、食べれば食べるほどお気に入りが増えていく。自分好みのクレープを探してみよう！

若草ポイント
季節を感じるメニュー



喫茶ジャコイカ

8:30-20:00 火曜日

ブランド統一された店内は、まさに『喫茶店』といったような雰囲気が漂う。この空間で過ごす時間は、日常から切り取られたかのように感じる。このお店の歴史は36年に及ぶ。店主さんは最近お父様からこのお店を受け継いだそう。そんなお店の歴史もこの店の魅力の一つだ。

若草ポイント
長く続いてきた歴史



見て楽しい！着て楽しい！

Laundry

(平日)11:00-20:00

(土日祝)10:00-20:00 不定休

四季通りにある、カラフルなデザインの商品が目玉を引く服飾店。スポーツメーカーなど各ブランドとコラボした商品が多数あり、若者や親子連れに向けた素敵な洋服屋さん。明るい店員さんたちと楽しく話しながら、自分にあったものを見つけることができるかも...

若草ポイント
店員さんの若い力



カラフル！イロドリ！エスニック！

KILLER QUEEN

12:00-19:00 無休

店内に入るとオシャレなものがらシックなまでの、様々なカバーが壁一面を彩っている。見ているだけでも時間があつという間に流れていく楽しい空間。ここで手が届かない手作りのカバーもある。お気に入りのカバーを見つけたらぜひ、ぜひ KILLER QUEEN へ。

若草ポイント
流行の先端



CIRCLE DE GOSHIP No.3

gosship=ゴシップ=噂。
MMUの部活・サークルに関する
噂の真実を調査。

今回の噂：
学生が中心になって市
民講座を行っている
サークルがあるらしい

噂を聞きつけた記者は、「市民講座」ということ
で、何やら高尚な香り漂うイメージを勝手に妄想
しながら、調査を開始した。すると、当てはまる
サークルが2つあることが判明。今回は、そのう
ちの一つ「日中文化交流促進会」にスポットを当
て、部長代理（部長は留学中）である古川さんに
インタビューを行った。

調査〜直撃インタビュー

記者（以下、記） 市民講座を行っていると言いま
したが、どのような講座なのですか？
古川（以下、古） 中国語講座です。学生と留学生
が講師となり、前期と後期それぞれ10回開催し
ており、前期は中国語の発音、後期は簡単な会話
を勉強しています。
記 市民講座を始めたいきっかけは？
古 大学の方から委託を受けて始まったのです
が、今ではサークルのメイン活動です。



日中文化交流促進会 部長代理
古川 瑠衣さん
2年 中国文化論ゼミ

調査結果

学生中心に運営する難しさを感じながらも、
留学生と力を合わせ、大学ならではの市民講座
を開催していることを確認。サークル名の通り、
独自の国際交流を促進しているようだ。今後も、
様々な交流が続くことに期待したい。
★次号、もう一つのサークルにスポットをあ
てます。ご期待ください！

■記事 志垣賢次
(4年 広告コミュニケーションゼミ)



市民講座の様子

記 講座を開催する上で、何か工夫されてい
ることはありますか？
古 ポイントを絞ることや、発音は留学生に
お手本を見せてもらう等、わかりやすく理解
していただけるよう工夫をしています。
記 市民講座以外にどのような活動をされて
いますか？
古 凌雲祭での出店や留学生との交流を主に
しています。宿舎に遊びに行ったり、ご飯を
一緒に作ったり、恋バナしたり…。異文化を
楽しく体験しています。

記 サークル活動を通じて、どのようなこと
を得ましたか？
古 一緒に旅行に行ったり、渡航先の中国で
留学生と再会したりと、プライベートで楽
しむくらい仲良くなったことですね。一生涯
の友人を得たことは私の中でとても大きい経
験となっています。

Index H24.10-H25.2

- 10 October**
 - 1日 中国の蘇州大学から4人、韓国の蔚山大
学から2人、蔚山科学大学から2人、
計8人の交換留学生が来学
 - 5日 鹿児島市立鹿児島玉龍高等学校PTA
の方が来学
 - 5日 定期公開講座「宮崎の地域イメージを考
える」を開催（11月30日）
 - 12日 ボランティア活動報告会を開催
 - 13日 インターネット安全教室を開催
 - 20日 ひむかからた競技大会を開催
- 11 November**
 - 3日 凌雲祭開催（4日）
 - 21日 ホストファミリー交流会を開催
- 12 December**
 - 7日 第二回 凌雲杯中国語コンテスト開催
 - 12日 MMU等宮崎市内の大学生6人が企画
した衆院選宮崎1区立候補者6人の合同
演説会をMMUで開催
 - 18日 クリスマスコンサートを開催
- 1 January**
 - 30日 市消防局との合同消防訓練を実施
 - 31日 卒業論文発表会を開催（2月2日）
- 2 February**
 - 25日 一般選抜前期日程試験

Pickup News

1/30 「びくすけ」設置除幕式 応援自販機

MMUでは、総務省の委託事業により（株）
フェニックスシステム研究所と共同で、一人
住まいの高齢者や障がい者への日常の見守り
や、災害時の情報共有が誰でも簡単に出来る
支援システム「びくすけ」の研究開発を進め
てきました。本システムが広く市民
の方々に認知され、
利用されることを
目的に、「びくすけ」
のラッピングを施
した災害対応型自
販機第一号機を本
学内に設置するこ
ととなり、その設
置除幕式が執り行
われました。



MMU NEWS PLUS

ニュースの内容は、
MMUウェブサイトでも
ご覧頂けます。

宮崎公立大学 新学長のご紹介

平成25年4月1日付に
て、林弘子新学長が就任
いたします。



Shintaro Yoshioka

略歴

九州大学大学院法学研究科修士
課程修了。米ロースクール卒業。
平成25年3月現在、福岡大学法学部・大学院法学研究科
教授・法科大学院兼任教授、弁護士。専門は労働法。日弁連・
福岡県弁護士会所属。

連続リレーエッセイ その2 いいだしっぺ



未来につながる「種」

前号の阪本先生からバトンを受け、エッセイ
を書くことになった。テーマは「高校生の頃の
夢」という、さて困った、高校生の頃、いつた
い私は何を夢みていたのか、そもそも夢など持っ
ていたのか。すぐ思い浮かぶのは、毎日自転車
で学校に通い、友だちと他愛のない話をしては
笑い転がっていた自分だ。
これでは話にならないので、もう少し高校時
代の自分を思い起こしてみよう。水泳部に入っ
ていた。吉本はななの小説を読んでいた。某ド
ーナツショップのグッズ集めのため、ドーナツは
かり食べていた時期もあった。改めて振り返っ
ても、当時の私は特に明確な夢もなく、ブーム
のつてはすぐに飽きる、ごく普通の女子高生
だった。

そんな普通の私だったが、古い映画を調べた
り、雑誌の写真をコラージュしたり、日々の生
活の中に、いくつもの小さな楽しみを持ってい
た。その中の一つに、少し昔の海外ドラマの視
聴があった。当時はいわゆる「トレンディドラマ」
全盛期だったが、兵庫県の独立放送局サンテレ
ビでは、「チャリダーズエンジェル」「探偵ハー
ト&ハート」等、70〜80年代のアメリカドラマ
を多数放送していた。もともと「テレビっ子」だっ
た私は、その中でも特に「ダラス」というドラ
マに夢中になった。

「ダラス」とは、文字通りアメリカのダラスが
舞台の家族ドラマで、大富豪一家の後継者争い
を軸に、毎回様々な人物が登場しては問題を巻
き起すソープオペラであった。あまりに波乱万
丈な内容に「なんでもやねん」と言いつつも、毎
回欠かさずこのドラマを見ていた。
それから数年後、大学院に入った私は再び「ダ

◆執筆 森津千尋 准教授 (広告コミュニケーションゼミ)

2005年同志社大学大学院文学研究科博士後期課
程単位取得退学。博士(社会学)。同志社大学嘱託
講師等を経て、2008年に宮崎公立大学助教とし
て着任。2012年より現職。

ラス」と出会う。それは「ダラス」について書
かれた研究論文だった。残念ながら日本ではあ
まり人気のなかった「ダラス」だが、世界的に
は大ヒットしたドラマで、その論文では、各国
の「ダラス」視聴者の反応について分析が行わ
れていた。私は、自分の高校時代の「小さな楽
しみ」が研究対象となっていることに驚き、そ
こからさらに「メディア研究」に関心を持つよ
うになっていった。

さて今回のテーマは「高校生の頃の夢」だっ
たが、何度思い返しても、やはり私は普通の女
子高生であった。大きな夢や、何か強い憧れ
を持っていったわけでもなく、ただブームのり
ベストセラー小説を読み、好きなテレビ番組を
見る、そんな平凡な日常生活を送っていた。
しかし、その平凡な日常生活の中にも、未来
につながる「種」は必ず存在する。私にとって
「ダラス」は、日常の小さな楽しみの一つであっ
た。しかし振り返ってみると、それが種となり、
今の仕事につながる双葉へと育ち、そしてその
茎はこの先も伸びていくだろう。

「種」がいつ芽を出してどんな花や実をつける
のか、それはすぐににはわからないが、まず「種」
がなければ双葉もない。これを読んでいる人
の中にも、今はまだ将来についての明確な夢が
ないという人もいるだろう。そんな人は、まず
は日常生活の中で色々な事に関心を持ち、自分
の中に「種」をまくことから始めてみてはど
うだろうか。その中の一粒が、いつかひょこり
双葉となって顔を出す日が来るかもしれない。
今回のエッセイは、お隣の研究室、梅津先生
にお願いすることにした。

学生記者紹介

編集後記

今回からの参加でしたが、貴重な体験が
できました。今後も皆様に楽しんでもいた
だける記事や写真を作っていきます！
古川 瑠衣（2年 中国文化論ゼミ）
前回に引き続き、今回もとても貴重な経
験をさせていただいたことに感謝致しま
す。読者の皆様、どうぞ隅々までお楽し
みください。
山本 麻育子（2年 社会学ゼミ）

今回、インタビューの機会を2度もいただ
きました。普段話す機会の少ない人と
じっくりとお話ができ、良い経験にな
りました。
早川 康輝（1年）

今回初めて制作に携わりました。このよう
な経験ができて良かったです。1人でも多
くの方が楽しんで頂けたら嬉しいです。
湯地 可奈（2年 American Studiesゼミ）

この広報誌を手にとってください皆様
に、少しでもMMUのことを知っていただ
きたい、という思いを込めました。
渡邊 美紗（2年 情報社会学ゼミ）
初めてこのような広報誌を作成させてい
ただきました。1人でも多くの人にMMU
の情熱が伝わりますように。
富永 彬佳（2年 行政論ゼミ）

今号も新しいMMU SHIPのカラーを
作れたと思います。日々のMMUの進化
と共に毎号進化する本誌を楽しんで頂け
ると嬉しいです！
志垣 賢次
(4年 広告コミュニケーションゼミ)

どうか無事に終わりました！ 貴重な
体験ができて本当に良かったです。たく
さんの方々にありがとを！
木寺 暲（2年 行政論ゼミ）

お知らせ

宮崎公立大学広報誌「MMU S
HIP」vol. 3はお楽しみいた
だけましたか？ 本誌は、更に質の
高い広報誌作成を目指し、読者の皆
さんからのご意見・ご感想をお待ち
しております！

ご意見・ご感想は、下記のEメール
アドレスへお送りください。
Eメールアドレス
mmu-ship@
fc.miyazaki-mu.ac.jp

社会で活躍するMMU卒業生に当時の学生生活や社会人としての近況を聞きました。今年がMMU開学20周年ということで、今回は1期生の卒業生にインタビューしました

何かに没頭する時間を。

宮崎市役所 野田りささん

(旧姓：源嶋)

平成8年度卒業生
中国文化論ゼミ(当時)

◀色紙の言葉～座右の銘

「中国の言葉で、『千里の目を極めんと欲し、更に上る一層の楼』と読みます。もっと遠くを見たかったらもう一段上に上がりなさいという意味です。この言葉をモットーに日々頑張っています」(野田)



記者(以下、記) 現在の仕事について、教えてください。

野田(以下、野) 宮崎市役所市民課の住民記録係に勤務しており、主に住所の異動に関わる仕事をしています。単純な作業に思われがちですが、登録された住所は税金や保険等住民サービスの基礎となるもので、日々緊張感を持って取り組んでいます。

記 大学生活の経験が、仕事にどう生かされていますか。

野 中国での留学経験を通じて異文化の中で揉まれ、日本ではとても経験できないようなことを多く体験して、度胸がつきました。なにか困難に直面しても、「どうかしよう」と思い、挑戦することができるのは、留学経験があったからこそです。

記 学生生活の思い出で、印象に残っているものはありますか。

野 中国への交換留学が心に残っています。様々な国籍の学友との交流や、休暇中の一人旅で色々な人と出会うことが出来ました。生まれも育ちも宮崎であった私が、初めて親元から離れて海外で過ごしたことを通じて、新しいことに積極的にチャレンジすることが出来るようになりました。

記 後輩へのメッセージを、お願いします。

野 MMUの卒業生として、後輩に伝えたいことが3つあります。
1つ目は生涯付き合える友達を作ることです。学生時代に苦楽を共にした友達は、社会人になってもからも刺激を受ける大切な存在になります。学生時代を一所懸命過ごして、生涯付き合える友達を作りましょう。
2つ目は恋愛をすることです。学生時代は恋愛のことだけを考えて没頭する時間があります。自分のことを差し置いてでも相手のことを思いやる気持ちを持つことは、素敵なことだと思います。また、恋愛がうまくいったときの喜びやうまくいかなかったときの悲しみは、自分の糧となつてどこかで生きていく気がします。

また、先生とたくさん話をしたことも良い思い出です。高校までは「先生」という年齢が離れていることもあり、遠い存在でした。しかしMMUでは、先生方と気軽に研究室で話したり、ご飯と一緒に食べたりして、じっくり話す機会がたくさんありました。1学年200人の小規模でアットホームな大学だからこそ、先生方と深く関わることが出来たのだと思います。

3つ目は卒業論文に一所懸命取り組むことです。1つのテーマについて長い時間考えるということは、一生を通じて、卒業論文以外にあるかどうかというくらい貴重な経験です。例えその結果が満足いくものでなかったとしても、1つのことに本気で取り組んだことは、自信につながります。

記 開学当初の様子を教えてください。

野 建物や設備等何もかも新しく、新鮮な気持ちでした。また、部活動の立ち上げや大学祭等、自分たちで一から始めることが多かった。その中でも特に印象に残っているのが、大学祭を作り上げたことです。

他の大学の大学祭を見に行って参考にしたり、スポンサー集めのために、企業と交渉して協賛金を集めてみたり：大変なこともありましたが、今考えてみると1期生だからこそ体験できたことだと思います。

これら3つのことに共通していることは、「学生時代は、何かに没頭できる時間がある」ということです。この時間は学生の特権だと思います。是非とも有意義に使ってください。

■記事 木寺 瞳 (2年 行政論ゼミ)